



第10回造形スタジオ展
手から心へ

7月21日(金)～9月3日(日)

造形スタジオでは、〈展示=みる〉〈体験=さわる〉〈制作=つくる〉の3つの要素で構成される「ワークショップ」を中心に活動しています。子どもたちを造形活動に誘う「ワークショップ」は、〈素材=材料〉の発見から行う「素材との出会い展」、〈造形の隣接領域=音楽や科学など〉から行う「造形発見展」、そして〈素材・道具・技法〉の3つから造形に取り組む「オープンスタジオ」の3つに大きく分けることができます。

第10回造形スタジオ展
手から心へ Hands-on to Minds-on

10周年

昭和50年11月1日に開館した（こどもの城）は、もうすぐ10歳の誕生日を迎えようとしています。この間、（こどもの城）ではさまざまなプログラムが行われてきました。今日は、7月21日から9月3日までアトリウム・ギャラリーと造形スタジオで開催されている「第10回 造形スタジオ展 手から心へ Hands-on to Minds-on」から、造形スタジオの10年の活動をふりかえってみたい。

『造形発見展』

私たちの身の回りにあふれる、そのものの存在に気づくことの少ない「光」「音」「空気」など——造形とは無関係だと思いがちです。これらの（もの）を造形の〈道具〉としてとらえなおし、いろいろな表現を生み出してあふようというのが「造形発見展」です。さまざまな〈もの〉が、造形の世界に入ってきます。今までに、〈音と造形〉〈光と造形〉などを実施してきました。



『素材との出会い展』

〈素材〉との〈出会い〉を大切に、〈素材〉の性質や〈素材〉と私たち人間との関係を造形活動をおして考えるプログラムです。例えば「木」を掘って舞台には、木とはどんなものだろうか？ という疑問から始まり、人間と素材との関係へと近づいていくようにプログラムを工夫しています。今までに「紙と造形」「木と造形」「土と造形」などを取り上げました。



そのほかのプログラム

このほかにも、1991年に「こども体験美術館 モダンアートどろんもんだい？」を開催。子どものための美術作図の鑑賞活動とそれの伴う造形活動のワークショップを行いました。



『オープンスタジオ』

造形活動のたいせつな要素として、〈素材〉〈道具〉〈技法〉があります。この3つのかかわりを体験するのが「オープンスタジオ」。〈素材〉を加工する〈道具〉、表現するための〈技法〉——それぞれが、もともとがたちで結びついて造形活動が行われます。今までに、「口ポット」「かお」「おじいさんの道具箱」などを実施してきました。